

令和3年度

岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び  
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見書

岩手県後期高齢者医療広域連合監査委員

# 目 次

第1 審査の対象	1
第2 審査の期日	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
第5 審査の概要	2
1 総括	
(1) 決算の概要	2
ア 決算収支の状況	2
イ 歳入決算の状況	3
ウ 歳出決算の状況	3
エ 歳入歳出前年度比較	3
2 一般会計	
(1) 決算の概要	4
(2) 歳入	5
(3) 歳出	8
3 特別会計	
(1) 決算の概要	10
(2) 歳入	11
(3) 歳出	18
4 財産	
(1) 物品	24
(2) 基金	24
第6 審査意見	25

- (注) ・文中及び表中の比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- ・端数処理の都合上、合計と内訳や差引が一致しない場合がある。
  - ・前年度に対する増減比率で、前年度に数値がなく全額増加したものは「皆増」、当年度に数値がなく全額減少したものは「皆減」と表記した。

# 令和3年度岩手県後期高齢者医療広域連合 歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見

## 第1 審査の対象

- 1 令和3年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算
- 2 令和3年度岩手県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 3 実質収支に関する調書
- 4 財産に関する調書

## 第2 審査の期日

令和4年7月26日(火)

## 第3 審査の方法

広域連合長から提出された令和3年度歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算の執行は適正であるかなどに主眼を置くとともに、関係諸帳簿及び証書類等によって調査照合を行った。

また、必要に応じて説明を求めたほか、例月出納検査の結果も参考にするなど、通常必要とされる審査手続によって審査した。

## 第4 審査の結果

決算書類等は、法令の規定に準拠して調製されており、決算書類等に記載の金額は、会計伝票、諸帳簿及び証書類等と符合し、計数は正確であると認められた。また、予算執行状況についても、概ね、適切かつ効率的、効果的に処理されていると認められた。

## 第5 審査の概要

### 1 総括

#### (1) 決算の概要

##### ア 決算収支の状況

令和3年度の一般会計及び後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入総額 161,820,066,306円に対し、歳出総額 158,514,783,726円で、歳入歳出差引残額（形式収支額）は 3,305,282,580円、翌年度へ繰り越すべき財源が無かったことから、実質収支額も 3,305,282,580円となっている。

（単位：円、％）

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引残額 A - B = C	翌年度へ繰り越 すべき財源 D
一般会計	194,478,793	188,554,331	5,924,462	0
後期高齢者医療 特別会計	161,625,587,513	158,326,229,395	3,299,358,118	0
令和3年度合計 ①	161,820,066,306	158,514,783,726	3,305,282,580	0
令和2年度合計 ②	162,124,549,176	159,502,973,209	2,621,575,967	0
増減額 ① - ②	△ 304,482,870	△ 988,189,483	683,706,613	0
増減比 (① - ②)/②	△ 0.19	△ 0.62	26.08	-

区 分	令和3年度実質収支額 C - D = E	令和2年度実質収支額 F	令和3年度単年度収支額 E - F
一般会計	5,924,462	5,563,850	360,612
後期高齢者医療 特別会計	3,299,358,118	2,616,012,117	683,346,001
合計	3,305,282,580	2,621,575,967	683,706,613

## イ 歳入決算の状況

歳入決算額は、調定額161,838,206,029円に対し、収入済額 161,820,066,306円で、不納欠損額は 393,424円、収入未済額は 17,746,299円となっている。

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
一般会計	194,381,000	194,478,793	194,478,793	0	0
後期高齢者医療 特別会計	161,111,210,000	161,643,727,236	161,625,587,513	393,424	17,746,299
合 計	161,305,591,000	161,838,206,029	161,820,066,306	393,424	17,746,299

## ウ 歳出決算の状況

支出済額は 158,514,783,726円、不用額は 2,790,807,274円で、予算現額に対する執行率は97.7%となっている。

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
一般会計	194,381,000	188,554,331	0	5,826,669	97.0
後期高齢者医療 特別会計	161,111,210,000	158,326,229,395	0	2,784,980,605	98.3
合 計	161,305,591,000	158,514,783,726	0	2,790,807,274	97.7

## エ 歳入歳出前年度比較

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和2年度	前年度比較	
				増減額	増減比
一般会計	歳入	194,478,793	195,803,250	△ 1,324,457	△ 0.68
	歳出	188,554,331	190,239,400	△ 1,685,069	△ 0.89
後期高齢者医療 特別会計	歳入	161,625,587,513	161,928,745,926	△ 303,158,413	△ 0.19
	歳出	158,326,229,395	159,312,733,809	△ 986,504,414	△ 0.62
合 計	歳入	161,820,066,306	162,124,549,176	△ 304,482,870	△ 0.19
	歳出	158,514,783,726	159,502,973,209	△ 988,189,483	△ 0.62

## 2 一般会計

### (1) 決算の概要

令和3年度の一般会計歳入歳出の決算額は、収入済額が194,478,793円、支出済額が188,554,331円で、歳入歳出差引残額は5,924,462円となっている。予算現額に対する歳入の執行率は100.1%、歳出の執行率は97.0%となっている。

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和2年度	前年度比較	
				増減額	増減比
予算現額 ①		194,381,000	195,722,000	△ 1,341,000	△ 0.7
歳入	調定額 ②	194,478,793	195,803,344	△ 1,324,551	△ 0.7
	収入済額 ③	194,478,793	195,803,250	△ 1,324,457	△ 0.7
	不納欠損額 ④	0	0	0	-
	収入未済額 ② - ③ - ④ = ⑤	0	94	△ 94	皆減
	予算現額に対する 歳入執行率 ③/① = ⑥	100.1	100.0		
	調定に対する収納率 ③/② = ⑦	100.0	100.0		
歳出	支出済額 ⑧	188,554,331	190,239,400	△ 1,685,069	△ 0.9
	翌年度繰越額 ⑨	0	0	0	-
	不用額 ① - ⑧ - ⑨ = ⑩	5,826,669	5,482,600	344,069	6.3
	歳出執行率 ⑧/① = ⑪	97.0	97.2		
歳入歳出差引残額 ③ - ⑧ = ⑫		5,924,462	5,563,850	360,612	6.5

## (2) 歳入

### 〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	構成比
1 分担金及び負担金	186,709,000	186,709,000	186,709,000	0	0	96.0
4 財産収入	1,000	386	386	0	0	0.0
6 繰入金	1,779,000	1,779,313	1,779,313	0	0	0.9
7 繰越金	5,564,000	5,563,850	5,563,850	0	0	2.9
8 諸収入	328,000	426,244	426,244	0	0	0.2
令和3年度 合計 ①	194,381,000	194,478,793	194,478,793	0	0	100.0
令和2年度 合計 ②	195,722,000	195,803,344	195,803,250	0	94	
増減額 ① - ②	△ 1,341,000	△ 1,324,551	△ 1,324,457	0	△ 94	
増減比 (① - ②)/②	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.7	-	皆減	

### 第1款 分担金及び負担金（市町村負担金）

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	186,709,000	186,709,000	186,709,000	0	0	100.0	100.0
令和2年度	190,783,000	190,783,000	190,783,000	0	0	100.0	100.0
増減額	△ 4,074,000	△ 4,074,000	△ 4,074,000	0	0		
増減比	△ 2.1	△ 2.1	△ 2.1	-	-		

収入済額は 186,709,000円で、令和2年度に比べ 4,074,000円減少している。

主な要因は、歳入の繰越金の増により、事務費負担金を減額したことによる。

#### 第4款 財産収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	1,000	386	386	0	0	38.6	100.0
令和2年度	5,000	5,898	5,898	0	0	118.0	100.0
増減額	△ 4,000	△ 5,512	△ 5,512	0	0		
増減比	△ 80.0	△ 93.5	△ 93.5	-	-		

収入済額は 386円で、令和2年度に比べ 5,512円減少している。

主な要因は、財政調整基金の預金利子の減である。

#### 第6款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	1,779,000	1,779,313	1,779,313	0	0	100.0	100.0
令和2年度	3,023,000	3,023,166	3,023,166	0	0	100.0	100.0
増減額	△ 1,244,000	△ 1,243,853	△ 1,243,853	0	0		
増減比	△ 41.2	△ 41.1	△ 41.1	-	-		

収入済額は 1,779,313円で、令和2年度に比べ 1,243,853円減少している。

#### 第7款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	5,564,000	5,563,850	5,563,850	0	0	100.0	100.0
令和2年度	1,780,000	1,779,313	1,779,313	0	0	100.0	100.0
増減額	3,784,000	3,784,537	3,784,537	0	0		
増減比	212.6	212.7	212.7	-	-		

収入済額は 5,563,850円で、令和2年度に比べ 3,784,537円増加している。



## 第8款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	328,000	426,244	426,244	0	0	130.0	100.0
令和2年度	131,000	211,967	211,873	0	94	161.7	100.0
増減額	197,000	214,277	214,371	0	△ 94		
増減比	150.4	101.1	101.2	-	皆減		

### 諸収入の項別内訳

(単位：円、%)

諸収入	令和3年度			令和2年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 預金利子	864	864	100.0	2,547	△ 1,683	△ 66.1
2 雑入	425,380	425,380	100.0	209,326	216,054	103.2
合計	426,244	426,244	100.0	211,873	214,371	101.2

収入済額は 426,244円で、令和2年度に比べ 214,371円増加している。

主な要因は、職員住宅使用料自己負担分等の増である。

### (3) 歳出

支出済額は 188,554,331円で、予算現額に対する執行率は 97.0%となっている。

不用額は 5,826,669円で、主なものは総務費 4,646,804円、予備費 1,000,000円であり、令和2年度に比べ 344,069円増加している。

#### 〔歳出予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 議会費	1,369,000	1,189,135	86.9	0.6	0	179,865
2 総務費	192,012,000	187,365,196	97.6	99.4	0	4,646,804
4 予備費	1,000,000	0	0.0	0.0	0	1,000,000
令和3年度合計 ①	194,381,000	188,554,331	97.0	100.0	0	5,826,669
令和2年度合計 ②	195,722,000	190,239,400	97.2		0	5,482,600
増減額 ① - ②	△ 1,341,000	△ 1,685,069			0	344,069
増減比 (① - ②)/②	△ 0.7	△ 0.9			-	6.3

#### 第1款 議会費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	1,369,000	1,189,135	0	179,865	86.9
令和2年度	1,328,000	1,122,733	0	205,267	84.5
増減額	41,000	66,402	0	△ 25,402	
増減比	3.1	5.9	-	△ 12.4	

支出済額は 1,189,135円で、令和2年度に比べ 66,402円増加している。

主な要因は、費用弁償等の増である。

## 第2款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	192,012,000	187,365,196	0	4,646,804	97.6
令和2年度	193,394,000	189,116,667	0	4,277,333	97.8
増減額	△ 1,382,000	△ 1,751,471	0	369,471	
増減比	△ 0.7	△ 0.9	-	8.6	

### 総務費の項別内訳

(単位：円、%)

総務費	令和3年度			令和2年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減比
1 総務管理費	191,852,000	187,229,540	97.6	188,982,047	△ 1,752,507	△ 0.9
2 選挙費	24,000	0	0.0	0	0	-
3 監査委員費	136,000	135,656	99.7	134,620	1,036	0.8
合計	192,012,000	187,365,196	97.6	189,116,667	△ 1,751,471	△ 0.9

支出済額は 187,365,196円 で、令和2年度に比べ 1,751,471円 減少している。

主な要因は、派遣職員人件費負担金の減である。

## 第4款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
令和2年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
増減額	0	0	0	0	
増減比	0.0	-	-	0.0	

### 3 後期高齢者医療特別会計

#### (1) 決算の概要

令和3年度の後期高齢者医療特別会計歳入歳出の決算額は、収入済額が161,625,587,513円、支出済額が158,326,229,395円で、歳入歳出差引残額は3,299,358,118円となっている。

予算現額に対する歳入の執行率は100.3%、歳出の執行率は98.3%となっている。

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和2年度	前年度比較	
				増減額	増減比
予算現額 ①		161,111,210,000	161,363,986,000	△ 252,776,000	△ 0.2
歳入	調定額 ②	161,643,727,236	161,950,252,290	△ 306,525,054	△ 0.2
	収入済額 ③	161,625,587,513	161,928,745,926	△ 303,158,413	△ 0.2
	不納欠損額 ④	393,424	0	393,424	皆増
	収入未済額 ② - ③ - ④ = ⑤	17,746,299	21,506,364	△ 3,760,065	△ 17.5
	予算現額に対する 歳入執行率 ③/① = ⑥	100.3	100.3		
	調定に対する収納率 ③/② = ⑦	100.0	100.0		
歳出	支出済額 ⑧	158,326,229,395	159,312,733,809	△ 986,504,414	△ 0.6
	翌年度繰越額 ⑨	0	0	0	-
	不用額 ① - ⑧ - ⑨ = ⑩	2,784,980,605	2,051,252,191	733,728,414	35.8
	歳出執行率 ⑧/① = ⑪	98.3	98.7		
歳入歳出差引残額 ③ - ⑧ = ⑫		3,299,358,118	2,616,012,117	683,346,001	26.1

## (2) 歳入

## 〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	構成比
1 市町村 支出金	26,355,329,000	26,311,545,473	26,311,545,473	0	0	16.3
2 国庫 支出金	54,229,038,000	54,773,337,398	54,773,337,398	0	0	33.9
3 県支出金	13,207,854,000	12,934,533,332	12,934,533,332	0	0	8.0
4 支払基金 交付金	60,127,452,000	60,372,077,546	60,372,077,546	0	0	37.4
5 特別高額 医療費共 同事業交 付金	35,904,000	46,291,267	46,291,267	0	0	0.0
6 財産収入	170,000	170,622	170,622	0	0	0.0
8 繰入金	4,403,858,000	4,403,858,000	4,403,858,000	0	0	2.7
9 繰越金	2,616,013,000	2,616,012,117	2,616,012,117	0	0	1.6
11 諸収入	135,592,000	185,901,481	167,761,758	393,424	17,746,299	0.1
令和3年度 合計 ①	161,111,210,000	161,643,727,236	161,625,587,513	393,424	17,746,299	100.0
令和2年度 合計 ②	161,363,986,000	161,950,252,290	161,928,745,926	0	21,506,364	
増減額 ① - ②	△ 252,776,000	△ 306,525,054	△ 303,158,413	393,424	△ 3,760,065	
増減比 (① - ②)/②	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	皆増	△ 17.5	

## 第1款 市町村支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	26,355,329,000	26,311,545,473	26,311,545,473	0	0	99.8	100.0
令和2年度	26,143,071,000	26,268,272,487	26,268,272,487	0	0	100.5	100.0
増減額	212,258,000	43,272,986	43,272,986	0	0		
増減比	0.8	0.2	0.2	-	-		

### 市町村支出金の項別内訳

(単位：円、%)

市町村支出金	令和3年度			令和2年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 市町村負担金	26,311,545,473	26,311,545,473	100.0	26,268,272,487	43,272,986	0.2
(1) 事務費負担金	296,008,351	296,008,351	100.0	302,348,053	△ 6,339,702	△ 2.1
(2) 保険料等負担金	13,538,883,559	13,538,883,559	100.0	13,458,274,297	80,609,262	0.6
(3) 療養給付費負担金	12,476,653,563	12,476,653,563	100.0	12,507,650,137	△ 30,996,574	△ 0.2

収入済額は 26,311,545,473円で、令和2年度に比べ 43,272,986円増加している。

主な要因は、保険料均等割軽減の見直しによる保険料等負担金の増である。

## 第2款 国庫支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	54,229,038,000	54,773,337,398	54,773,337,398	0	0	101.0	100.0
令和2年度	57,506,872,000	58,158,674,838	58,158,674,838	0	0	101.1	100.0
増減額	△ 3,277,834,000	△ 3,385,337,440	△ 3,385,337,440	0	0		
増減比	△ 5.7	△ 5.8	△ 5.8	-	-		

国庫支出金の項別内訳

(単位：円、%)

国庫支出金	令和3年度			令和2年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 国庫負担金	38,555,477,658	38,555,477,658	100.0	40,945,771,435	△ 2,390,293,777	△5.8
(1) 療養給付費負担金	37,895,090,326	37,895,090,326	100.0	40,322,135,252	△ 2,427,044,926	△6.0
(2) 高額医療費負担金	660,387,332	660,387,332	100.0	623,636,183	36,751,149	5.9
2 国庫補助金	16,217,859,740	16,217,859,740	100.0	17,212,903,403	△ 995,043,663	△5.8
(1) 調整交付金	16,167,879,000	16,167,879,000	100.0	17,002,786,000	△ 834,907,000	△4.9
(2) 保健事業補助金	42,352,000	42,352,000	100.0	43,850,000	△ 1,498,000	△3.4
(4) 特別高額医療費 共同事業補助金	7,109,740	7,109,740	100.0	6,868,939	240,801	3.5
(5) 後期高齢者医療災 害臨時特例補助金	519,000	519,000	100.0	6,562,000	△ 6,043,000	△92.1
(7) 高齢者医療制度円 滑運営臨時特例交 付金	-	-	-	152,836,464	△ 152,836,464	皆減
合 計	54,773,337,398	54,773,337,398	100.0	58,158,674,838	△ 3,385,337,440	△5.8

収入済額は 54,773,337,398円で、令和2年度に比べ 3,385,337,440円減少している。

主な要因は、療養給付費負担金の減である。

調整交付金については、東日本大震災一部負担金減免対象の縮小に伴う影響で大きく減少している。後期高齢者医療災害臨時特例補助金についても、新型コロナウイルス感染症に伴う保険料減免対象者が前年に比べ減少したことにより減少している。

### 第3款 県支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	13,207,854,000	12,934,533,332	12,934,533,332	0	0	97.9	100.0
令和2年度	13,174,541,000	13,047,725,004	13,047,725,004	0	0	99.0	100.0
増減額	33,313,000	△ 113,191,672	△ 113,191,672	0	0		
増減比	0.3	△ 0.9	△ 0.9	-	-		

#### 県支出金の項別内訳

(単位：円、%)

県支出金	令和3年度			令和2年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 県負担金	12,842,254,332	12,842,254,332	100.0	12,934,905,004	△ 92,650,672	△ 0.7
(1) 療養給付費 負担金	12,181,867,000	12,181,867,000	100.0	12,296,150,209	△ 114,283,209	△ 0.9
(2) 高額医療費 負担金	660,387,332	660,387,332	100.0	638,754,795	21,632,537	3.4
2 県補助金	92,279,000	92,279,000	100.0	112,820,000	△ 20,541,000	△ 18.2
(1) 一部負担金 特例措置支 援事業費補 助金	92,279,000	92,279,000	100.0	112,820,000	△ 20,541,000	△ 18.2
合計	12,934,533,332	12,934,533,332	100.0	13,047,725,004	△ 113,191,672	△ 0.9

収入済額は 12,934,533,332円で、令和2年度に比べ 113,191,672円減少している。

主な要因は、令和3年度療養給付費の減少による療養給付費負担金の減である。



#### 第4款 支払基金交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	60,127,452,000	60,372,077,546	60,372,077,546	0	0	100.4	100.0
令和2年度	60,594,644,000	60,375,607,391	60,375,607,391	0	0	99.6	100.0
増減額	△ 467,192,000	△ 3,529,845	△ 3,529,845	0	0		
増減比	△ 0.8	△ 0.0	△ 0.0	-	-		

収入済額は 60,372,077,546円で、令和2年度に比べ 3,529,845円減少している。

主な要因は、令和3年度療養給付費の減少による後期高齢者交付金の減である。

#### 第5款 特別高額医療費共同事業交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	35,904,000	46,291,267	46,291,267	0	0	128.9	100.0
令和2年度	31,460,000	50,148,819	50,148,819	0	0	159.4	100.0
増減額	4,444,000	△ 3,857,552	△ 3,857,552	0	0		
増減比	14.1	△ 7.7	△ 7.7	-	-		

収入済額は 46,291,267円で、令和2年度に比べ 3,857,552円減少している。

主な要因は、交付金の対象である1件当たり400万円超の高額医療の実績値の減である。

#### 第6款 財産収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	170,000	170,622	170,622	0	0	100.4	100.0
令和2年度	1,188,000	1,188,744	1,188,744	0	0	100.1	100.0
増減額	△ 1,018,000	△ 1,018,122	△ 1,018,122	0	0		
増減比	△ 85.7	△ 85.6	△ 85.6	-	-		

収入済額は 170,622円で、令和2年度に比べ 1,018,122円減少している。

主な要因は、後期高齢者医療財政調整基金の運用利子の減である。

## 第8款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	4,403,858,000	4,403,858,000	4,403,858,000	0	0	100.0	100.0
令和2年度	0	0	0	0	0	0.0	-
増減額	4,403,858,000	4,403,858,000	4,403,858,000	0	0		
増減比	皆増	皆増	皆増	-	-		

収入済額は 4,403,858,000円 で、令和2年度に比べ 4,403,858,000円 増加している。

令和2年度医療給付費負担金等の精算のため、相当額を後期高齢者医療財政調整基金から繰り入れたものである。

## 第9款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	2,616,013,000	2,616,012,117	2,616,012,117	0	0	100.0	100.0
令和2年度	3,785,605,000	3,785,604,988	3,785,604,988	0	0	100.0	100.0
増減額	△ 1,169,592,000	△ 1,169,592,871	△ 1,169,592,871	0	0		
増減比	△ 30.9	△ 30.9	△ 30.9	-	-		

収入済額は 2,616,012,117円 で、令和2年度に比べ 1,169,592,871円 減少している。

## 第11款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
令和3年度	135,592,000	185,901,481	167,761,758	393,424	17,746,299	123.7	90.2
令和2年度	126,605,000	263,030,019	241,523,655	0	21,506,364	190.8	91.8
増減額	8,987,000	△ 77,128,538	△ 73,761,897	393,424	△ 3,760,065		
増減比	7.1	△ 29.3	△ 30.5	皆増	△ 17.5		

### 諸収入の項別内訳

(単位：円、%)

諸収入	令和3年度				令和2年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	不納欠損額	収納率	収入済額	増減額	増減比
1 延滞金、 加算金及 び過料	0	0	0	-	0	0	-
2 預金利子	680,422	680,422	0	100.0	1,971,372	△ 1,290,950	△ 65.5
3 雑入	185,221,059	167,081,336	393,424	90.2	239,552,283	△ 72,470,947	△ 30.3
合計	185,901,481	167,761,758	393,424	90.2	241,523,655	△ 73,761,897	△ 30.5

収入済額は 167,761,758円で、令和2年度に比べ 73,761,897円減少している。

主な要因は、第三者納付金の減である。

収入未済額 17,746,299円は、主に第三者納付金や返納金の未納により生じたものである。

不納欠損額 393,424円は、第三者納付金に係る損害賠償請求権の放棄により生じたものである。

(2) 歳出

支出済額は 158,326,229,395円 で、予算現額 161,111,210,000円 に対する執行率は98.3% となっている。

不用額は 2,784,980,605円 で、主なものは保険給付費 2,647,669,553円、保健事業費 67,912,895円 であり、令和2年度に比べ 733,728,414円 (35.8%) 増加している。

〔歳出予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 総務費	388,926,000	353,670,248	90.9	0.2	0	35,255,752
2 保険給付費	155,007,132,000	152,359,462,447	98.3	96.2	0	2,647,669,553
3 県財政安定化基金 拠出金	59,585,000	59,584,910	100.0	0	0	90
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	62,160,000	55,568,194	89.4	0	0	6,591,806
5 保健事業費	494,504,000	426,591,105	86.3	0.3	0	67,912,895
7 基金積立金	171,000	170,622	99.8	0	0	378
8 公債費	728,000	0	0	0	0	728,000
9 諸支出金	5,088,004,000	5,071,181,869	99.7	3.2	0	16,822,131
10 予備費	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000
令和3年度合計 ①	161,111,210,000	158,326,229,395	98.3	100.0	0	2,784,980,605
令和2年度合計 ②	161,363,986,000	159,312,733,809	98.7		0	2,051,252,191
増減額 ① - ②	△ 252,776,000	△ 986,504,414			0	733,728,414
増減比 (① - ②)/②	△ 0.2	△ 0.6			-	35.8

## 第1款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	388,926,000	353,670,248	0	35,255,752	90.9
令和2年度	372,766,000	331,207,944	0	41,558,056	88.9
増減額	16,160,000	22,462,304	0	△6,302,304	
増減比	4.3	6.8	-	△ 15.2	

### 総務費の項別内訳

(単位：円、%)

総務費	令和3年度			令和2年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減比
1 総務管理費	388,374,000	353,122,808	90.9	330,745,584	22,377,224	6.8
2 賦課徴収費	52,000	547,440	99.2	462,360	85,080	18.4
合計	388,926,000	353,670,248	90.9	331,207,944	22,462,304	6.8

支出済額は 353,670,248円で、令和2年度に比べ 22,462,304円増加している。

主な要因は、後期高齢者医療制度広報事業の拡充に伴う増である。

## 第2款 保険給付費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	155,007,132,000	152,359,462,447	0	2,647,669,553	98.3
令和2年度	152,803,886,000	150,988,131,241	0	1,815,754,759	98.8
増減額	2,203,246,000	1,371,331,206	0	831,914,794	
増減比	1.4	0.9	-	45.8	

### 保険給付費の項別内訳

(単位：円、%)

保険給付費	令和3年度			令和2年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減比
1 療養諸費	148,746,120,000	146,188,507,373	98.3	145,294,817,575	893,689,798	0.6
2 高額療養諸費	5,836,442,000	5,761,935,074	98.7	5,296,683,666	465,251,408	8.8
3 その他医療給付費	424,570,000	409,020,000	96.3	396,630,000	12,390,000	3.1
合計	155,007,132,000	152,359,462,447	98.3	150,988,131,241	1,371,331,206	0.9

支出済額は 152,359,462,447円で、令和2年度に比べ 1,371,331,206円増加している。

主な要因は、令和2年度に比べ新型コロナウイルス感染症による受診抑制が緩和されたことや、医療の高度化による療養給付費の増と想定される。

## 第3款 県財政安定化基金拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	59,585,000	59,584,910	0	90	100.0
令和2年度	59,585,000	59,584,910	0	90	100.0
増減額	0	0	0	0	
増減比	0	0	-	0	

支出済額は、59,584,910円で、令和2年度と同額である。

#### 第4款 特別高額医療費共同事業拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	62,160,000	55,568,194	0	6,591,806	89.4
令和2年度	43,938,000	43,920,610	0	17,390	100.0
増減額	18,222,000	11,647,584	0	6,574,416	
増減比	41.5	26.5	-	37,805.7	

支出済額は 55,568,194円 で、令和2年度に比べ 11,647,584円 増加している。

主な要因は、国民健康保険中央会への拠出金の算定基礎となる1件当たり400万円超の高額医療費の額が全国的に増加したことによる事業拠出金の増である。

#### 第5款 保健事業費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	494,504,000	426,591,105	0	67,912,895	86.3
令和2年度	565,173,000	403,886,453	0	161,286,547	71.5
増減額	△ 70,669,000	22,704,652	0	△ 93,373,652	
増減比	△ 12.5	5.6	-	△ 57.9	

支出済額は 426,591,105円 で、令和2年度に比べ 22,704,652円 増加している。

主な要因は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業委託料の増である。

## 第7款 基金積立金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	171,000	170,622	0	378	99.8
令和2年度	4,625,566,000	4,625,564,744	0	1,256	100.0
増減額	△ 4,625,395,000	△ 4,625,394,122	0	△ 878	
増減比	△ 100.0	△ 100.0	-	△ 69.9	

支出済額は170,622円で、令和2年度に比べ 4,625,394,122円減少している。

主な要因は、支出見通しに基づき、運用利子のみの積立としたことによる減である。

## 第8款 公債費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	728,000	0	0	728,000	0.0
令和2年度	604,000	0	0	604,000	0.0
増減額	124,000	0	0	124,000	
増減比	20.5	-	-	20.5	

資金不足の際の一時借入金に係る支払利子を予算計上したものであるが、一時借入がなかったことにより不執行となっている。

## 第9款 諸支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	5,088,004,000	5,071,181,869	0	16,822,131	99.7
令和2年度	2,882,468,000	2,860,437,907	0	22,030,093	99.2
増減額	2,205,536,000	2,210,743,962	0	△ 5,207,962	
増減比	76.5	77.3	-	△ 23.6	

支出済額は 5,071,181,869円で、令和2年度に比べ 2,210,743,962円増加している。

主な要因は、市町村療養給付費負担金返還金及び医療給付費等国庫負担金返還金の増である。



第10款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
令和3年度	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0
令和2年度	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0
増減額	0	0	0	0	
増減比	0.0	-	-	0.0	

## 4 財産

### (1) 物品

重要物品（取得価格が50万円以上のもの）の状況は、次のとおりである。

（単位：件）

区 分	令和2年度末現在高	令和3年度中増減	令和3年度末現在高
各種自動車類	0	0	0
各種機械類等	1	0	1
合 計	1	0	1

### (2) 基金

特定の目的のために財産を維持し、積み立てられた基金（定額の資金を運用する基金を除く。）の状況は、次のとおりである。

#### ア 財政調整基金

（単位：円）

区 分	令和2年度末現在高	令和3年度中増減	令和3年度末現在高
現 金	20,245,270	3,784,923	24,030,193
債 権	0	0	0

基金の額は、令和2年度末現在高 20,245,270円から 3,784,923円増加し、24,030,193円となっている。

#### イ 後期高齢者医療財政調整基金

（単位：円）

区 分	令和2年度末現在高	令和3年度中増減	令和3年度末現在高
現 金	8,954,974,106	△ 4,403,687,378	4,551,286,728
債 権	0	0	0

基金の額は、令和2年度末現在高 8,954,974,106円から 4,403,687,378円減少し、4,551,286,728円となっている。

## 第6 審査意見

令和3年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計における決算審査の状況については、以上のとおりである。

広域連合事務局が執行している事務事業は、法令等に基づき、概ね適正に処理されているものと認められ、また、歳入歳出予算の執行についても、概ね適正であると認められる。

今後も、被保険者数の増加や医療費の増大が見込まれる中で、医療保険制度の安定的な運営と健全な財政運営を確保するため、収入及び支出の見通しを的確に把握するとともに、保険料収納率の向上や収入未済額の縮減による歳入確保に努めるほか、適正受診の促進や保健事業計画に基づく効果的な保健事業の推進により医療費の適正化を図るなど、市町村や関係機関と十分な連携を図りながら、一層の効率的かつ効果的な事業の推進に努めるよう望むものである。